

# 医療人育成における教養教育充実への課題



「教養教育の充実」をテーマに約100人が参加した第4回熊本県医療人育成総合会議＝熊本県中央区本荘の熊本大学医学部キャンパス

**司会**

竹屋 元裕氏  
熊本大学医学部長

児玉 公道氏  
九州中央リハビリテーション学院 学院長

## 将来見据え、人の幅を広げよう

熊本のより良い医療・福祉の実現と、それを支える人材育成を目指す熊本県医療人育成総合会議が11月16日、熊本市中央区本荘の熊本大学医学部キャンパスで開かれ、医療従事者や教育関係者を中心に約100人が参加した。4回目を迎える今回は「医療人育成における教養教育充実への課題」をテーマに、医療人を育成するための教養教育の意義や在り方、取り組み、制度、課題について、教育機関や行政など異なる分野の6人が多角的な視点で講演。最後に、九州看護福祉大学学長の二塚信氏をコメンテーターに、登壇者全員による総合討論や、質疑応答が行われた。

### 制度改革で課題克服へ

文部科学省が担当している医学・歯学・薬学・看護教育の主要4分野について、最近の状況・取り組みを紹介しています。

まず医学教育は、2001年に「医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議報告」に基づき、臨床実習開始前の学生の態度、技能、知識を評価するための試験として「共用試験」を導入しました。それと並行して臨床参加型臨床実習も推進しています。モデル・コア・カリキュラムの内容については、教養教育の基本的な意義・定義などは明確に示されています。

また歯学教育は、制度的には医学と同様に推移しています。薬学教育は、06年に大学が4年制から6年制に移行しました。現在、薬剤師国家試験受験資格は6年制学部卒業生のみ得られます。6年制の薬学教育モデル・コア・カリキュラムは13年度中に作成し、15年度から実施する予定です。

看護教育は近年、看護師を養成する大学が急増しています。92年は14大学でしたが、13年は210大学です。そのため、教える側（教師）の質について不安視する声も聞かれます。

### 講演① 大学での医学系教育における現状－制度を中心に－



岩瀬 鎮男氏  
文部科学省高等教育局 医学教育課 課長補佐

記されているものの、教養教育の具体的な内容に関する議論・見直しでは至っていない状況です。

また歯学教育は、制度的には医学と同様に推移しています。薬学教育は、06年に大学が4年制から6年制に移行しました。現在、薬剤師国家試験受験資格は6年制学部卒業生のみ得られます。6年制の薬学教育モデル・コア・カリキュラムは13年度中に作成し、15年度から実施する予定です。

看護教育は近年、看護師を養成する大学が急増しています。92年は14大学でしたが、13年は210大学です。そのため、教える側（教師）の質について不安視する声も聞かれます。

### 講演② 専門学校での中核的専門人材養成の取り組み－医療福祉系教育を中心に－



圓入 由美氏  
文部科学省生涯学習政策局 生涯学習課 課長補佐

現在、医療・福祉関係の高等教育機関への進学率は上昇傾向にあります。高卒以上の産業別就職者数では、医療・福祉関係は製造業に次いで第2位です。その中で約半数を占めるのが、専門学校卒業生です。専門学校卒業生への企業のアプローチ結果は、大卒と比較した場合、専門性は高く評価されていますが、リサーチ・調整能力や企画力・創造力に差があるという意見が見られます。

また、学校で学んだことを社会でどう活かすかが、課題の一つといえます。文科省では、中核的人材養成を推進しています。さまざまな分野で中核的役割を果たす専門人材養成に取り組む産官のコンソーシアム（組織）をつくり、大学・専門学校で連携して社会人・学生の就労や、キャリアアップに必要な実践的な知識・技能などを身に付けるための学習システムの構築を目指しています。

医療では、地域医療・介護を支える多職種連携力を持つ中核的専門人材育成プログラム開発に取り組んでいるところがあります。大学・専門学校の現場の方々が参画する地域のコンソーシアムを通じて情報共有・相互理解を図り、各職域で活躍する専門職の連携の活性化を期待しています。

### 講演③ 医療人育成における教養教育充実への課題－成績評価を中心に－



小笠原 正明氏  
大学教育学会 会長  
北海道大学 名誉教授

教養教育を再構築しようとした場合、まずは教養教育を「誰が」「何を」「どのよう」にするか、という基本的な問題から考える必要があります。

教養教育システムには、専門教育を早期に固定せず、広い分野を履修する「リベラルアーツカリキュラム型」、専任教員組織で学ぶ課程前

期を担う「教養部型」として、全教員が担当するのが教養教育の本質で、専門分化した学問を総合化するための在るべき姿ではないでしょうか。

次に、「何を」学ぶかについては、広い視野のもとで基礎的学術分野を総合的に扱わなくてはなりません。言語学や植物学、物理学、歴史、天文学など、さまざまな分野を基礎としながら、分野を超えて捉えることが、教養教育では重要です。「このように」は、教養教育では授業の双方向性を図り、「知識中心型」から「課題解決型」の授業に転換すべきでしょう。

そして、知識を列挙するだけではなく、課題の意味の理解や、それを用いた問題解決能力など、広い意味の「学力」を評価するのが重要だと思われま



会場からの質問も含め活発な意見が交わされた総合討論

### 講演④ 医療技術系大学における教養教育の現状と課題



岡部 由紀子氏  
熊本保健科学大学 副学長

熊本保健科学大学の例をもとに教養教育の実践上の課題について述べます。

具体的には「教養科目」の運営上の課題として、まず入札物（コマ）の配置の制約に出合います。医療系では専門教育の容量が増す中、大学の4年間で教養教育をどうデザインするか、4年間のうちの時期にど

が普通ですが、医療系では学科や専攻ごとに学外実習の時期が異なり、一部履修の講義進行とせざるを得ません。そのような調整も含め、大学全体でどう教養教育を取り組むべきか、問いの持続が課題ではないでしょうか。

教養科目の企画・運営には、恒常的な組織が必要で、大学のカリキュラムは入学年度によって所定の内容が卒業まで事前決定されていますので、例えば4年生対象の科目の追加や変更は、4年先まで実現できません。教養教育を大学全体の在り方を踏まえて点検・審議する作業は、コアとなるメンバーが必要になります。2年程度で構成員が交代する委員会組織でなく、定員として配置され、カリキュラム編成と運営に責任を持つ体制が重要です。

### 継続的な取り組み必要

### 講演⑤ 医療技術系専門学校における教養系教育の現状と課題

熊本保健科学大学の例をもとに教養教育の実践上の課題について述べます。

具体的には「教養科目」の運営上の課題として、まず入札物（コマ）の配置の制約に出合います。医療系では専門教育の容量が増す中、大学の4年間で教養教育をどうデザインするか、4年間のうちの時期にど

ます講演タイトルを「教養系教育」としていただきました。専門学校にはいわゆる「教養教育」は設けられていませんので、このような

タイトルにさせていただきます。専門学校は大学とは異なり、実践的な専門職の育成を教育目標とし、実用的なカリキュラム体系を重視しています。卒業後は社会人になりますので、もちろん教養的な素養は必要ですが、大学のように教育課程上に明記されておらず、そ

の位置付けが不明確な面が見られます。なお専門学校教育課程には基礎分野・専門基礎分野・専門分野がありますが、基礎分野が教養課程に相当します。

専門学校には社会人を含め多様な学力・学習歴の学生がいますので、一定の水準で授業をすることの難しさがあります。さらに専門教育が高度化・細分化されており、教養系教育との関係の課題といえます。

統括・整合性も課題といわれています。また運営上、教養系教育を担当できる教員の雇用が困難です。基礎分野については学外に依頼させるを得ない状況にあります。

卒業生は将来、チーム医療に携わることになりますので、医療人としての基本的な素養、社会人基礎力をいかに育成していくかが今後の課題といえます。

### 講演⑥ 熊本の医療人育成における教養教育コンソーシアム体制の提案



古島 幹雄氏  
熊本大学 理学部長

現在、大学ではグローバル人材の育成が必須とされています。これは、医療の分野でも例外ではありません。

グローバル医療系人材とは、知識・技術・応用を持つ「専門力」、観察・状況判断に優れた「人間力」、学識感性のある「教養力」の3つを兼ね備えた人材のことを指します。そんなグローバル医療系人材の育成をはじめ生涯教養教育、教養教育の質保証の基盤をつくるために、地域での「医療人育成コンソーシアム（組織）」の構築を提案します。

医療系教育機関は養

成の場、医療現場は育成の場と考えられます。育成は、大学や専門学校など現行の教養教育の枠組みだけでは対応が困難です。生涯教養教育の場を提供するためにコンソーシアムをつくりたい。実際、熊本というローカルな地域であれば、コンソーシアムを構成することは可能ではないかと思

では教養教育の中心となるのはどんな学問か。一般の方から見れば、医療機関は特殊な環境（非日常）にあります。少なからず人生観や死生観、宗教観に関することから、個人的には教養教育の柱に「美学」を置くという考え方を持とうか。切な

### 教育の柱に「美学」を

## 総合討論 医療人育成における教養教育充実への課題

### コメンテーター 二塚 信氏



ばある業界からは、最近の卒業生に求めるものとして課題解決能力などが足りないという声も聞かれます。専門職としての教養的な倫理観や職業人としての在り方が学べるカリキュラムを組み込んでいきたいという要望もたくさん聞きました。それに応じた形として、最近2、3年次に実習などと組み合わせる教養的な講義を行う学校も多々あります。ある学校では、建築現場で事故が起きた場合にどう対処するか、どう倫理観を持つべきかなど、専門的な実習と演習を繰り返して新しい授業を実施していました。「専門的な実習を行った後に基礎的な講義・演習を経験した後の方が理解できた」「社会人になる前の心構えができた」など、学生の姿勢が変わったようです。

会場 教養科目が必要かどうか、という点でいえば私は必要ないと思います。理由は、国家試験に出ないからです。もし必要であれば国家試験に出るはずではないでしょうか。

岡部 教養科目を学ぶ意味は、個々の専門のためでなく、専門職に就くからこそ専門じゃないものに出合えないといけないのではないかと、私個人は感じています。自分がやっているものだけで閉じない。専門とは違う学術的分野に触れる大事さということがあります。学生から

総合討論に先駆け、コメンテーターを務める九州看護福祉大学学長の二塚信氏が、「日本の一般教育の変容過程」について概要説明を行った。その後、パネリストは会場からの質問に答えながら、熱のこもった意見を交わした。

会場 小笠原先生が、教養教育は地域に根差したものと述べられましたが、その意味を教えてください。

小笠原 さまざまな基礎的学術的分野を総合的な視点から教育・学習することが教養教育ですが、教養教育をカリキュラムとして設定した場合、基本的にどの地域でも内容は同じようなものになるはず。しかし、学問へのアプローチの仕方や教育の方法には大学の個性が出ます。また、課外活動や他者とのコミュニケーションを通して培われた教養は、極めて地域に密着した性格を持っています。教養教育の地域性は、結果として得られる物だと考えます。

会場 教養とは何でしょうか。また教養とは、大学などでわざわざ教えないといけないものですか。

古島 見識を持つことは重要です。教養がある人というのは、知識だけではなく、見識がある人ことだと私は思います。個性と言い換えてもよいかもしれません。高校までとそれ以降で違うのは、歴史的に培われた学問の基盤の中

地域性高い教養教育：小笠原氏

見識持つことは重要：古島氏

二塚 学問は、過去から蓄積された専門的で系統的な学術分野だと思っています。特に医療系については、医療倫理や生命倫理について学問的に学ぶことが必要です。さらにコミュニケーションを考えた場合、コミュニケーションに関連した学問的な体系があり、広く国際的な知識を積むためには語学力が必要であり、科学的な力を養成するためには実証する数学的な応用力が養われます。

岩瀬 教養教育の直接的担当ではありませんが、さまざまな議論のある分野であるため認識いたしました。また、本日の他の方々の話を聞いて非常に勉強になりました。各方面から意見を出し合っていたら、今後の施策に反映させることができたいと思います。

圓入 専門学校などでは、専門教育を受けるために入ったのになぜ教養的な基礎科目を勉強しなくてはならないのか、何をやっているのかわからないという声も聞かれます。一方で、例え

### 専門外との出合いを：岡部氏

は「どうしてこんな教養科目があるの？」と言われながらも、世の中にはこんな分野があるんだと示すだけでも意味があると思います。他の人と話す、あるいは他の国や他の地域の人と論じ合える、共有する問題や話題の枠を、教養科目の中で伝えたいと考えています。

辻野 教養科目の内容は、人間の生き方に関わってくるものだと思います。私が携わっている専門学校の学生が卒業して医療人になった後、患者に向き合ったり、チーム医療の一員として加わったりした時に、専門分野の力だけでは生きていくことはできません。生きていくために必要な力を、教養教育を通して学生に身に付けてほしいと考えています。

二塚 教養教育は、専門教育と並んで最も必要なものです。辻野先生が「生きる力」と表現されましたが、職業生活を十分に営んでいく力を付ける、あるいは患者に対して単に病気を診るのではなく、生活者として対応するような力を付けるという意味で、教養の持つ力は極めて大きいのではないのでしょうか。教養教育は将来、少子高齢化を迎える医療人としても必要な領域であるといえます。（文中敬称略）